

## 第4回 質の評価準備会 議事概要

日時：平成26年2月18日（火）18：00～19：30

場所：愛光苑

- 出席者：デイサービス
  - ・ 社会福祉法人 愛光苑 デイサービスセンター
  - ・ 株式会社 アールケア（アルフィック十日市）
  - ・ 医療法人 佐藤医院デイサービス
  - ・ 公益財団法人 岡山市ふれあい公社 在宅福祉課
  - ・ 株式会社 HHH デイサービスゆいま〜る十日市
  - ・ 社会福祉法人やすらぎ福祉会 泉寿の里 デイサービスセンター
  - ・ 株式会社両備ヘルシーケア
- 岡山大学
  - ・ 岡山大学 浜田氏 山川氏
- 岡山市

### 1. 検討内容

- 事業説明会のとりまとめについて  
178/284事業所が参加し、9割を超える事業所がサービスの質を高める必要があると回答があったこと、8割の事業所が事業の趣旨を理解できたと回答があった旨等報告をした。
- 調査票案について  
事業説明会及び質の評価WTでの意見を踏まえ作成した調査票案を提示し、意見交換を行った。
- 今後のスケジュールについて  
2月末に調査票を発出することを伝えた。

### 2. 当日資料

別添のとおり

H26.2.4及び2.7 デイサービス改善インセンティブ事業説明会グループワークショップ集計結果

H26.2.14作成

大項目	番号	評価項目	項目選択率	項目の賛否等	個人の選定理由・意見等		岡山市指標(案)	賛否等
					件数	内容		
1		資格取得に向けた支援、継続的な能力開発の実施	44%	賛成	職員のスキル、モチベーションの向上が見込まれ、その結果サービスの向上にもつながる	○各事業所における資格取得に係る助成額のうち11件当たりの最大額	<b>【賛成】</b> ・適切 <b>【意見】</b> ・指標の調査項目の定義、調査方法に注意が必要 ・「ない」事業所がある(制度がない、やっていない等々) <b>【新指標案】</b> ・研修ポインント制の導入とその評価 ・資格取得に必要な時間数 ・採用後、新たに資格取得した人数の割合 ・資格取得に向けた勉強会の実施状況 ・資格取得を目指している人数の割合	
				賛成	指標にすることで資格取得促進が図られる			
				賛成	指標が設定しやすい			
				賛成	全ての事業所が資格取得を推進することで、資格取得後の転職を抑制できる			
2		専門的ケア習得に向けた外部研修参加への支援	44%	賛成	職員のスキル、モチベーションの向上が見込まれ、その結果サービスの向上にもつながる	○研究発表の回数 ○研修助成金額	<b>【賛成】</b> ・研修助成金額は適切 ・状態像の改善につながる <b>【意見】</b> ・研修発表が「ない」事業所がある(やっていない等々) ・指標が項目を評価するのに適切でない ・指標の調査の仕方に注意 <b>【新指標案】</b> ・内部研修の実行数 ・外部研修参加数(外部講師を招いての内部研修含む) ・研修にかかる費用(参加費の負担+外部講師謝礼金) ・岡山市主催の研修会への参加回数・時間数	
				賛成	指標が設定しやすい			
				賛成	人材育成の体制が整っていることは重要			
3		職員満足度の確保	67%	賛成	職員の満足度は、人員確保につながり、サービスの安定供給できる	○満足度調査の結果	<b>【賛成】</b> ・適切 ・状態像の改善につながる <b>【意見】</b> ・指標の調査の仕方に注意 <b>【新指標案】</b> ・制度の有無(結婚や子育てに関する) ・設備の有無(職員の休憩場所の確保) ・人事評価制度の整備状況	
				反対	実態と異なるデータになることが危惧される。指標化にじままない。			
				反対	年代別で満足度の捉え方が異なるのではないか。指標化にじままない。			
4		職員が安心して働ける環境の整備	44%	賛成	労働条件の改善に寄与し、サービスの向上につながるため	○従業員の平均有給取得率 (職歴に応じて決まっている有給の取得率(労基法上の取得推奨率))	<b>【賛成】</b> ・適切 <b>【意見】</b> ・指標が項目を評価するのに適切でない ・指標の調査項目の定義、調査方法に注意が必要 <b>【新指標案】</b> ・勤続年数(3年、5年以上の別合)、過去1年の退職者数 ・キャリアパス制度 ・制度の有無(結婚や子育てに関する) ・岡山市が提示した目標値の達成度	
				賛成	休暇制度、休暇取得の充実につながる			
				賛成	職員の育成につながる			
				賛成	労務管理につながる			

従事者支援

H26.2.4及び2.7 デイサービス改善インセンティブ事業説明会グループワークショップ集計結果

H26.2.14作成

大項目	番号	評価項目	項目選択率	項目の賛否等	個人の選定理由・意見等	件数	岡山市指標(案)	賛否等
介護技術	5	状態像の維持改善度 (自立に向けた取り組み)	56%	賛成	自立を目指すために重要である	10件	○ADL維持改善率 ○IADL維持改善率 <計算式> 維持・改善人数/サービスを受けた利用者	【賛成】 ・指標が明確または簡易 ・状態像の改善に繋がる ・適切 【意見】 ・指標の調査の仕方に注意 【新指標案】 ・利用者満足度 ・身体能力評価テスト ・要介護度の変化
				賛成	数値化しやすいため、主観的な指標が設定できる	5件		
				賛成	維持を評価することは重要である	1件		
				意見	評価項目としては良いが、統一的な評価基準の設定が重要	1件		
	6	加算対象サービス以外の提供	56%	賛成	加算以外のサービスの充実につながる	7件	○加算対象サービス以外で行っているサービスの種類	【賛成】 ・指標が明確または簡易 ・状態像の改善に繋がる 【意見】 ・指標の調査の仕方に注意 ・指標が項目を評価するのに適切でない 【新指標案】 ・5段階(1～5点)の満足度調査 ・所外活動加算、時間・回数・回数の記録
				賛成	状態の維持・改善につながる	3件		
				賛成	事業所が実施可能な項目であるため	1件		
				賛成	加算対象サービス以外が評価されれば、事業所の利益、職員の給与アップにつながる	1件		
	7	専門的な認知症ケアの提供	33%	賛成	状態の維持・改善につながる	3件	○認知症実践研修への参加人数 ○認知症の調査の件数割合 (長谷川式、DAS C、浦上式、等)	【賛成】 ・状態像の改善に繋がる 【適切】 【意見】 なし 【新指標案】 ・検査実施により実態把握 ・岡山市主催の研修会への参加回数・時間数 ・家族アンケート
				賛成	高齢者の認知症対策は必須である	4件		
賛成				認知症の利用者が多いため	1件			
8	自己評価の実施	0%	賛成	質の向上につながる	2件	○内部評価実施人数(キャリア段位における申請者数)	【賛成】 なし 【意見】 なし 【新指標案】 なし	
			賛成	内部評価、自己評価の実施の促進につながる	1件			
9	キャリア段位制への参加	0%	賛成	介護技術の向上につながる	2件	○キャリア段位研修会参加人数	【賛成】 なし 【意見】 なし 【新指標案】 なし	
10	利用満足度調査の実施等による利用者の意見の収集	56%	賛成	利用者ニーズを把握することで、サービスの向上につながる	10件	○利用者満足度調査の公表率 ○利用者満足度調査の結果	【賛成】 ・利用者の状態に応じたサービスにつながる 【意見】 ・指標の調査の仕方に注意 【新指標案】 ・利用者からの調査票の回収率	
			賛成	満足度の把握は、利用者及び家族のモチベーション向上策につながる	1件			
			賛成	未実施事業所の実施促進につながるため	1件			
			反対	結果の信憑性が疑問である	1件			

H26.2.4及び2.7 デイサービス改善インセンティブ事業説明会グループワーク集計結果

H26.2.14作成

大項目	番号	評価項目	項目選択率	項目の賛否等	個人の選定理由・意見等	件数	岡山市指標(案)	賛否等
事業者の意識向上	11	職員のうち、個別機能訓練加算の対象となる国家資格取得者の配置人数 (理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師又は准看護師、柔道整復師、あん摩マッサージ指圧師)	56%	賛成	専門職の配置すること、適切な訓練の実施が可能となり、利用者の状態の維持・改善につながる	13件	○機能訓練指導員について、国家資格の職種数 ※人数の考え方は、公表されている事業所情報に準じて計算	【賛成】 ・指標が明確または簡易 【適切】 ・指標が項目を評価するのに適切でない 【意見】 ・反対 【新指標案】 ・介護度や疾病に応じた訓練内容を評価する指標 ・機能訓練の結果で評価 ・機能訓練指導員について、国家資格の職種数及び経験年数 ・専門職員/定員 ・利用者数、介護度別にに対する職員数または改善率という割合
				賛成	指導員の役割が明確化できる	1件		
				反対	施設の規模による差が大きいため、評価項目には馴染まない	2件		
				反対	既に加算で評価されているため、評価項目には馴染まない	1件		
				反対	指導員に資格要件がないため、国家資格で評価する必要はない	1件		
				賛成	相談員に資格の有無は重要と思われる	2件		
	12	生活相談員の体制	0%	賛成	相談員に資格の有無は重要と思われる	2件	○生活相談員のうち、常勤の社会福祉士がいるか、非常勤の社会福祉士がいるか、社会福祉士がいないかの3択 ※人数の考え方は、公表されている事業所情報に準じて計算	【賛成】 なし 【意見】 なし 【新指標案】 なし
				賛成	現行では、相談員に関する評価がされていないため有効と思われる	1件		
				賛成	介護福祉士の配置数増加につながる	1件		
	13	介護職員の体制	67%	賛成	介護福祉士の配置が充実することで、ケアの充実につながる	11件	○介護福祉士人数/介護職員数 ※人数の考え方は、公表されている事業所情報に準じて計算	【賛成】 ・状態像の改善につながる 【適切】 【意見】 ・指標の調査項目の定義に注意 ・指標の調査項目の定義に注意 【新指標案】 ・利用者数、介護度別にに対する職員数または改善率の割合 ・研修の参加率
				賛成	介護福祉士の配置数増加につながる	2件		
				賛成	指標化しやすい	1件		
				賛成	介護福祉士の報酬増加につながる	1件		
				意見	介護福祉士はもっと評価されるべき	1件		
				反対	介護職員に介護福祉士の割合が多いことが良いサービスに繋がるわけではない	1件		
				反対	既に加算で評価されているため、評価項目には馴染まない	1件		

H26.2.4及び2.7 デイサービス改善インセンティブ事業説明会グループワークショップ集計結果

H26.2.14作成

大項目	番号	評価項目	項目選択率	項目の賛否等	個人の選定理由・意見等	件数	岡山市指標(案)	賛否等
事業者の意識向上	14	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、又は准看護師、あ柔道整復師、インストラクター、社会福祉士、介護福祉士以外の専門職の配置人数	11%	賛成	職員のスキルの向上が見込まれ、その結果サービスの向上にもつながる	2件	○歯科衛生士、管理栄養士、音楽療法士、認知症ケア専門士等の職種数	【賛成】 なし 【意見】 なし 【新指標案】 なし
				賛成	既存の専門職以外の活用が図られるべき	2件		
				賛成	D Sを差別化するために必要	1件		
	15	実習生の受け入れ	44%	賛成	未来のスタッフ養成は評価すべき	4件	○受け入れ延べ人数／定員 ○受け入れ日数	【賛成】 ・適切 【意見】 ・指標の調査項目の定義、調査方法に注意が必要 【新指標案】 なし
				賛成	受け入れることで、事業所の意識、スキルの向上につながる	2件		
				賛成	地域貢献の一環として促進すべき	1件		
				賛成	サービスの安定供給につながる	1件		
	16	利用者がくつろげる環境の整備、事業所全体の雰囲気への配慮	56%	賛成	利用者が心地よく過ごせる環境は重要	7件	○食堂及び機能訓練室について、併せた面積と利用定員の商の値(指定基準は3平方メートル×利用定員)	【賛成】 ・状態像の改善に繋がる ・利用者の状態に応じたサービスに繋がる 【意見】 ・指標の調査の仕方に注意 【新指標案】 なし
				賛成	利用者の状態の維持・改善につながる	5件		
				賛成	評価項目として適切	3件		
	17	状態像の維持改善を図るための機器等の充実	44%	賛成	利用者の状態の維持・改善につながる	11件	○機能訓練用の機器類及びレクリエーション用の機器の種類 ○定員数に対する機器の配置数	【賛成】 なし 【意見】 ・指標の調査項目の定義に注意 ・指標が項目を評価するのに適切でない 【新指標案】 ・アセスメントの充実具合 ・メニュー、プログラムの実施頻度、回数、量、時間 ・複数のメニュー、プログラムの有無 ・機器の配置数 ・訓練、休憩所スペース
				賛成	自立支援のための設備の充実が重要	4件		
				賛成	機器等の充実は、安定的な経営の根拠となるため	1件		
				反対	施設の規模による差が大きいため、評価項目には馴染まない	1件		

## H26.2.4及び2.7 デイサービス改善インセンティブ事業説明会グループワーク集計結果

H26.2.14作成

大項目	番号	評価項目	項目選択率	項目の賛否等	個人の選定理由・意見等	件数	岡山市指標(案)	賛否等
<b>事業者の意識向上</b>	18	広報紙の定期的な発行	22%	賛成	利用者の増加が図られる	3件	○年間の発行数	<b>【賛成】</b> ・指標が明確または簡易 ・利用者の状態に応じたサービスに繋がる <b>【意見】</b> ・指標の調査の仕方に注意 <b>【新指標案】</b> なし
				賛成	指標として適切	2件		
				賛成	事業所の取り組みを周知でき、意見が入ってくることで事業所のレベル向上につながる	2件		
				賛成	広報紙の発行部数、回数増加の促進が図られる	2件		
				賛成	利用者の選択の幅が広がる	2件		
				賛成	事業所自身の自己研鑽に寄与する	1件		
	19	事業所情報開示に向けた取組	44%	賛成	利用者の選択の幅が広がる	6件	○県が管理する事業所 検索HPにおける任意 事項の記載数	<b>【賛成】</b> ・適切 <b>【意見】</b> ・指標が項目を評価するのに適切でない <b>【新指標案】</b> ・HPの更新回数 ・介護情報誌の発刊
				賛成	事業者の責任意識の向上につながる	1件		
	20	医療機関との連携(急変時、精神科(認知症)、歯科医)	33%	賛成	利用者の安心につながる	7件	○緊急搬送先を把握している利用者の人数	<b>【賛成】</b> ・利用者の状態に応じたサービスにつながる <b>【意見】</b> ・指標の調査項目の定義に注意 ・指標が項目を評価するのに適切でない <b>【新指標案】</b> ・意見書や検査結果の提供を受けているか ・情報共有した記録物 ・救急搬送できる医療機関数
				賛成	D Sにとって医療機関との連携は必須	4件		

H26.2.4及び2.7 デイサービス改善インセンティブ事業説明会グループワークショップ集計結果

H26.2.14作成

大項目	番号	評価項目	項目選択率	項目の賛否等	個人の選定理由・意見等	件数	岡山市指標(案)	賛否等
地域住民の意識向上	21	地域社会との交流(地域行事の参加等)	11%	賛成	地域との交流・連携は重要	4件	○地域住民が参加可能な施設内行事の実施回数(／年)	【賛成】 ・適切 【意見】 なし 【新指標案】 なし
				賛成	地域で支えることが重要	2件		
				賛成	利用者の社会交流の場を増やすことにつながる	2件		
				反対	地域住民の意識向上は不要	1件		
	22	地域住民の介護体験やボランティアの積極的な受け入れ	67%	賛成	地域住民の介護に対する理解を深めることにつながる	9件	○延べ人数/定員	【賛成】 ・適切 【意見】 ・指標が明確または簡易 ・指標の調査項目の定義に注意 ・指標が項目を評価するのに適切でない 【新指標案】 ・受入回数 ・受入の延べ団体数
				賛成	利用者のリフレッシュにつながる	3件		
				賛成	サービス内容を透明化することで、内容の充実につながる	2件		
				反対	評価項目に馴染まない	1件		
	23	家族会、介護教室の開催	33%	賛成	家族がDSでの利用者の状況を把握することでの理解が深まる	5件	○開催日数	【賛成】 ・適切 ・指標が明確または簡易 ・状態像の改善につながる 【意見】 ・指標の調査の仕方に注意 【新指標案】 ・登録者数に対する参加割合
				賛成	地域住民の意識改革につながる	2件		
				賛成	現在取り組みを行っていない事業所の開催促進につながる	2件		
				賛成	利用者及び家族が安心してサービスを受けることができる	2件		
24	利用者、家族等との適切なコミュニケーション	56%	賛成	利用者の自宅での様子が把握できる	1件	○利用者懇談会の開催件数(／年) ○家族への意思決定支援件数	【賛成】 ・適切 【意見】 ・指標の調査項目の定義に注意 ・指標が項目を評価するのに適切でない 【新指標案】 ・広報紙の発行回数 ・相談件数 ・連絡帳の利用 ・利用者家族へのアンケート調査実施有無、結果 ・担当者会議への参加件数	
			賛成	事業者と利用者・家族との理解が深まり、サービスの質の向上に繋がる	7件			
			賛成	情報共有は重要	5件			
			反対	地域住民の意識向上は不要	1件			
				反対	数字に表れないものもあるため、評価項目には馴染まない	1件		

地域住民の意識向上

## 通所介護サービスの質の評価に関する調査

### ■記入にあたってのご注意

- ・ ( ) の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・ 数字を記入する欄が0 (ゼロ) の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- ・ 記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒を使い、平成26年3月●日 (●) までにご返送下さい。

(I) 基本情報				
①事業所名		②事業所コード		
③所在地	岡山市 ( ) 区	④施設定員数 (H26.2.1時点)	人	
⑤開設主体	1. 営利法人 2. 社会福祉法人 3. 医療法人 4. その他 ( )	⑥開設年	西暦 ( ) 年	
⑦要介護度別利用者数 (H26.2.1時点)	要支援1	要支援2		
	人	人		
	要介護1	要介護2		要介護3
	人	人		人
	要介護4	要介護5		
	人	人		
⑧併設している施設 H26.2.1時点	①医療機関併設 ②介護施設併設 ③その他 ( )			

(II) 職員体制						
職種別の従業者の数、勤務形態、労働時間、従業者1人当たりの利用者数等						
	常勤		非常勤		合計	常勤換算 人数
	専従	非専従	専従	非専従		
生活相談員	0人	2人	0人	0人	2人	1人
看護職員	0人	0人	2人	0人	2人	1人
介護職員	3人	1人	0人	0人	4人	3.5人
機能訓練指導員	1人	0人	0人	0人	1人	1人
歯科衛生士	0人	0人	0人	0人	0人	0人
管理栄養士	0人	0人	0人	0人	0人	0人
事務員	0人	0人	0人	0人	0人	0人
その他の従業者	0人	1人	1人	0人	2人	1.2人

(III) 加算の算定状況 (平成26年12月実施分(1月申請分))	
加算費目	算定あり・・・「1」 算定なし・・・「2」
①入浴介助加算	
②個別機能訓練加算(I)	
③個別機能訓練加算(II)	
④栄養改善加算	
⑤口腔機能向上加算	
⑥サービス提供体制強化加算(I)	
⑦サービス提供体制強化加算(II)	
⑧サービス提供体制強化加算(III)	
⑨介護職員処遇改善加算(I)	
⑩介護職員処遇改善加算(II)	
⑪介護職員処遇改善加算(III)	

(IV) 平成25年の各種状況 (平成25年1月～25年12月)					
(1) 資格取得に向けた支援、継続的な能力開発の実施					
①各事業所における資格取得に係る助成額のうち1件当たりの最大額	対象職種	看護職員	介護職員	機能訓練指導員	その他
	助成額(施設負担分)	( )円	( )円	( )円	( )円
上記の対象資格					

(2) 専門的ケア習得に向けた外部研修参加への支援						
①施設外で実施された研修への参加状況	対象職種	看護職員	介護職員	機能訓練指導員	その他	
	参加人数(延べ)	( )人	( )人	( )人	( )人	( )人
	参加人数(実人数)	( )人	( )人	( )人	( )人	( )人
	費用計(施設負担分)	( )円	( )円	( )円	( )円	( )円
②施設内部における研修への参加状況	対象職種	看護職員	介護職員	機能訓練指導員	その他	
	参加人数(延べ)	( )人	( )人	( )人	( )人	( )人
	参加人数(実人数)	( )人	( )人	( )人	( )人	( )人
	費用計(施設負担分)	( )円	( )円	( )円	( )円	( )円
③岡山市主催の研修会への参加	参加回数					
	回					



(3)職員満足度の確保

①職員への満足度調査	実施の有無 結果の公表 (複数可)	1. あり( )件 2. なし 1. 結果を施設内に掲示 2. 結果を記した配布文書を備え付けている 3. 公表していない 4. その他( )
②職員の疲労蓄積度自己診断チェックリスト	実施の有無	1. あり( )件 2. なし

(4)職員が安心して働ける環境の整備

①職員の有休取得状況	平均有休消化率 ( )%	看護職員 ( )%	介護職員 ( )%	機能訓練指導員 ( )%	その他 ( )%
②過去1年の退職者数	退職者人数 ( )人	看護職員 ( )人	介護職員 ( )人	機能訓練指導員 ( )人	その他 ( )人

(5)状態像の維持改善度(自立に向けた取り組み)

今回は不要(来年度実施)

(6)加算対象サービス以外の提供

①独自のサービスの内容	サービス名称	1回に要する時間	1回あたりの利用者数	回数(1月当たり)	満足度調査の実施の有無

(7)専門的な認知症ケアの提供

①認知症の受け入れ人数	
②認知症の調査件数	

(8)自己評価の実施

①内部評価実施人数 (キャリア段位における申請者数)	
-------------------------------	--

(9)キャリア段位制度への参加

①キャリア段位研修会への参加人数	
------------------	--

(10)利用満足度調査の実施等による利用者の意見の収集

①利用者への満足度調査	実施の有無 利用者からのご意見への対応についての公表(複数可)	1. あり( )回 2. なし 1. 結果を施設内に掲示 2. 結果を記した配布文書を備え付けている 3. 公表していない 4. その他( )
	地域住民への結果の公表	1. あり 2. なし

(11)職員のうち、個別機能訓練加算の対象となる国家資格取得者の配置人数

従業者である機能訓練指導員が有している資格					
延べ人数	常勤		非常勤		合計
	専従	非専従	専従	非専従	
理学療法士	0人	0人	0人	0人	
作業療法士	0人	0人	0人	0人	
言語聴覚士	0人	0人	0人	0人	
看護師及び准看護師	0人	0人	0人	0人	
柔道整復師	0人	0人	0人	0人	
あん摩マッサージ指圧師	1人	0人	0人	0人	

(12)生活相談員の体制

従業者である生活相談員が有している資格					
延べ人数	常勤		非常勤		合計
	専従	非専従	専従	非専従	
社会福祉士	0人	0人	0人	0人	
社会福祉主事	0人	2人	0人	0人	

(13)介護職員の体制

従業者である介護職員が有している資格					
延べ人数	常勤		非常勤		合計
	専従	非専従	専従	非専従	
介護福祉士	0人	0人	0人	0人	
実務者研修	0人	0人	0人	0人	
介護職員基礎研修	0人	0人	0人	0人	
訪問介護員 1級	0人	0人	0人	0人	
訪問介護員 2級	1人	0人	0人	0人	
介護支援専門員	1人	0人	0人	0人	

(14) 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師又は准看護師、柔道整復師、あん摩マッサージ指圧師、社会福祉士、介護福祉以外の専門職の配置人数

	対象資格	常勤		非常勤	
		実人員	換算[1]	実人員	換算
(例) 介護支援専門員 管理栄養士・栄養士 薬剤師 歯科医師 音楽療法士、認知症ケア専門士など		人	. 人	人	. 人
		人	. 人	人	. 人
		人	. 人	人	. 人
		人	. 人	人	. 人
		人	. 人	人	. 人
		人	. 人	人	. 人
		人	. 人	人	. 人
		人	. 人	人	. 人

(15) 実習生の受け入れ

① 受入実績	受け入れ日数	受け入れ人数

(16) 利用者がくつろげる環境の整備、事業所全体の雰囲気への配慮

① 食堂及び機能訓練室について、併せた面積と利用定員の商の値	食堂及び機能訓練室の面積
② 環境評価アセスメント調査	実施回数

(17) 状態像の維持改善を図るための機器等の充実

	機器の名称	機器を使ったプログラム名称	1回に要する時間	1回あたりの利用者数	回数(1月当たり)	アセスメントの有無
① 機能訓練用の機器類及びレクリエーション用の機器の種類						

(18) 広報誌の定期的な発行

① 広報誌の発行回数	広報誌の種類	年間の発行数

(19) 事業所情報開示に向けた取組

① 介護情報公表システムの更新状況	1 変更点があれば、その都度変更している
	2 年に一度必ず更新している
	3 年に一度必ずしも更新していない

(20) 医療機関との連携(急変時、精神科(認知症)、歯科医)

① 急変時に連携先の医療機関への連絡回数	連絡回数(記録があるもに限る)
② 定期的な医師の訪問	連絡回数(記録があるもに限る)

(21) 地域住民等との連携

① 地域住民を対象とした介護技術教室等の開催回数	( )回
② 地域住民の介護体験やボランティア等の受け入れ人数	( )人
③ 地域住民を受け入れている施設内行事の実施回数	( )回

(22) 利用者家族とのコミュニケーションの状況

① 利用者家族への手紙や施設便りの発送回数	( )回	
② 利用者懇談会の開催	( )回	
③ 家族への満足度調査	実施の有無	1. あり( )回 2. なし
	家族からのご意見への対応についての公表(複数可)	1. 結果を施設内 2. 結果を記した 3. 公表していない 4. その他( )
地域住民への結果の公表		1. あり 2. なし

(23) 家族の負担感

① 家族の負担感調査の実施率	実施回数

# 通所介護施設におけるサービスの質の評価について

1) 次に挙げる施設における取組みを、下記のような評価指標を用いて評価することは、介護サービスの質の向上に有効とお考えですか。最も近いと思われる番号を選び、○をつけてください。

評価の視点			介護サービスの質の向上に			
			1 る有効 であ	2 でや ある有 効	3 い効あ でま はりな 有	4 な有 い効 では
1	資格取得に向けた支援、継続的な能力開発の実施	各事業所における資格取得に係る助成額のうち1件当たりの最大額	1	2	3	4
2-1	専門的ケア習得に向けた外部研修参加への支援	施設外で実施された研修への参加状況	1	2	3	4
2-2		施設内部における研修への参加状況	1	2	3	4
2-3		岡山市主催の研修会の参加	1	2	3	4
3-1	職員満足度の確保	職員への満足度調査	1	2	3	4
3-2		職員の疲労蓄積度自己診断チェックリスト	1	2	3	4
4-1	職員が安心して働ける環境の整備	職員の有休取得状況	1	2	3	4
4-2		過去1年の退職者数	1	2	3	4
5	状態像の維持改善	要介護度、IADL	1	2	3	4
6	加算対象サービス以外の提供	独自のサービスの内容	1	2	3	4
7-1	専門的な認知症ケアの提供	認知症の受け入れ人数	1	2	3	4
7-2		認知症の調査件数	1	2	3	4
8	自己評価の実施	内部評価実施人数 (キャリア段位における申請者数)	1	2	3	4
9	キャリア段位制度への参加	キャリア段位研修会への参加人数	1	2	3	4
10-1	利用満足度調査の実施等による利用者の意見の収集	利用者への満足度調査	1	2	3	4
10-2		家族への満足度調査	1	2	3	4
11	職員のうち、個別機能訓練加算の対象となる国家資格取得者の配置人数	従業者である機能訓練指導員が有している資格	1	2	3	4
12	生活相談員の体制	従業者である生活相談員が有している資格	1	2	3	4
13	介護職員の体制	従業者である介護職員が有している資格	1	2	3	4
14	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師又は准看護師、柔道整復師、あん摩マッサージ指圧師、社会福祉士、介護福祉以外の専門職の配置人数	資格数	1	2	3	4
15	実習生の受け入れ	受け入れ実績	1	2	3	4
16-1	利用者がくつろげる環境の整備、事業所全体の雰囲気の快適性への配慮	食堂及び機能訓練室について、併せた面積と利用定員の商の値	1	2	3	4
16-2		環境評価アセスメント調査	1	2	3	4
17	状態像の維持改善を図るための機器等の充実	機能訓練用の機器類及びレクリエーション用の機器の種類	1	2	3	4
18	広報誌の定期的な発行	広報誌の発行回数	1	2	3	4
19	事業所情報開示に向けた取組	介護情報公表システムの更新状況	1	2	3	4
20-1	医療機関との連携(急変時、精神科(認知症)、歯科医)	急変時に連携先の医療機関への連絡回数	1	2	3	4
20-2		定期的な医師の訪問	1	2	3	4
21-1	地域住民、家族等との連携	地域住民を対象とした介護技術教室等の開催回数	1	2	3	4
21-2		地域住民の介護体験やボランティア等の受け入れ人数	1	2	3	4
21-3		地域住民を受け入れている施設内行事の実施回数	1	2	3	4
22-1	利用者家族とのコミュニケーションの状況	利用者家族への手紙や施設便りの発送回数	1	2	3	4
22-2		利用者懇談会の開催	1	2	3	4
22-3		家族への満足度調査	1	2	3	4
23	家族の負担感	家族の負担感調査の実施率	1	2	3	4

# 総合特区介護サービス質の評価モデル事業スケジュール

2月

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
						1
2	3	4 第1回 事業説明会	5	6	7 第1回 事業説明会	8
9	10	11	12 WT開催	13	14 第1回説明会 の取りまとめ	15
16	17 調査票準備 (定議決め)	18 第4回準備会	19	20	21	22
23	24	25 調査票出	26	27	28	29 融通

3月

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13 調査票	14 調査集計	15
16	17	18	19	20 WT開催	21	22
23	24 第5回準備会	25	26 第3回事業所説明会	27	28 国報告	29
30	31					

## 資料4

# デイサービス改善インセン ティブ事業説明会 配布資料

岡山市総合特区  
デイサービス改善インセンティブ事業説明会  
次第

於：岡山プラザホテル 5階 延養の間

【スケジュール】

- 18:00～ 受付
- 18:30～19:00 事業説明(質疑応答含む)
- 19:00～19:10 グループワーク説明
- 19:10～19:40 グループワーク① 評価項目の選定
- 19:40～19:45 休憩
- 19:45～20:15 グループワーク② 指標の選定
- 20:15～20:30 発表
- 20:30 説明会終了

【配布資料】

- ・ 資料1 岡山市総合特区デイサービス改善インセンティブ事業
- ・ 資料2 「グループワーク」の進め方について
- ・ 資料3 デイサービスの評価項目・指標(案)
- ・ アンケート

# 岡山市総合特区ダイサービス改善インセンティブ事業

(総合特区介護サービス質の評価モデル事業)

## 岡山型持続可能な社会経済モデル総合特区

国の総合特区制度を活用し、介護保険の先進的事業に取り組んでいます。  
AAA(エイジレス・アクティブ・アドバンスト)シティ岡山を全国に発信

○平成26年1月からの実施予定の他事業

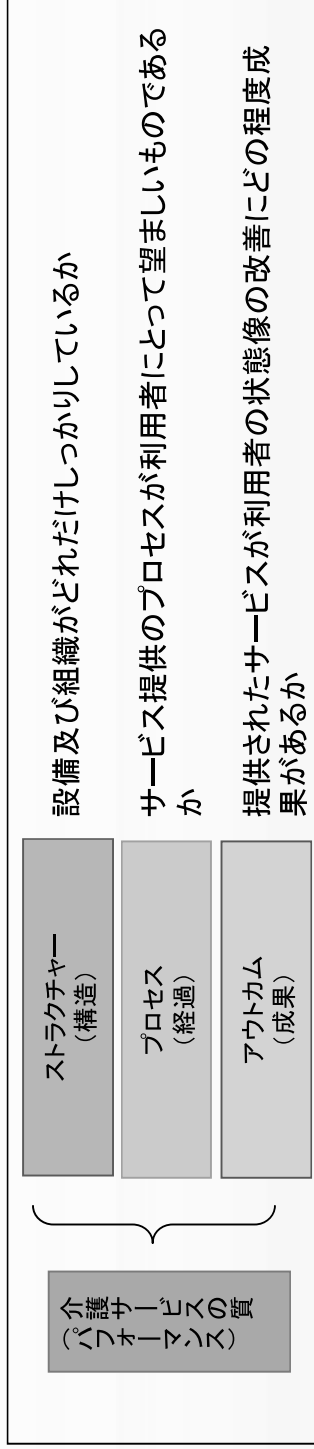
- ・総合特区介護機器貸与モデル事業  
「メンタルコミットロボットパロ」、「おだやかタイム」、「パワーアシストグローブ」を貸与します。
- ・総合特区介護予防ポイント事業  
要介護(要支援)者から非該当となった方が参加できる場所(フィットネスクラブ等)を創設 等

## ダイサービス改善インセンティブ事業の目的

通所介護事業所の介護サービスの質を評価し、利用者の状態像の維持・改善を図る  
(利用者のQOLの向上に努める)事業所についてインセンティブを与えることで、事業所の介護サービスの質の向上を図るとともに市全体のダイサービスの質を向上させることを目的としています。

## 介護サービスの質を評価する

介護サービスの質を評価する場合、そのアウトカム(例えば要介護度)だけに着目するのではなく、ストラクチャーやプロセスを評価することが重要と考える。



## 質を評価する項目(価値)・指標の問題

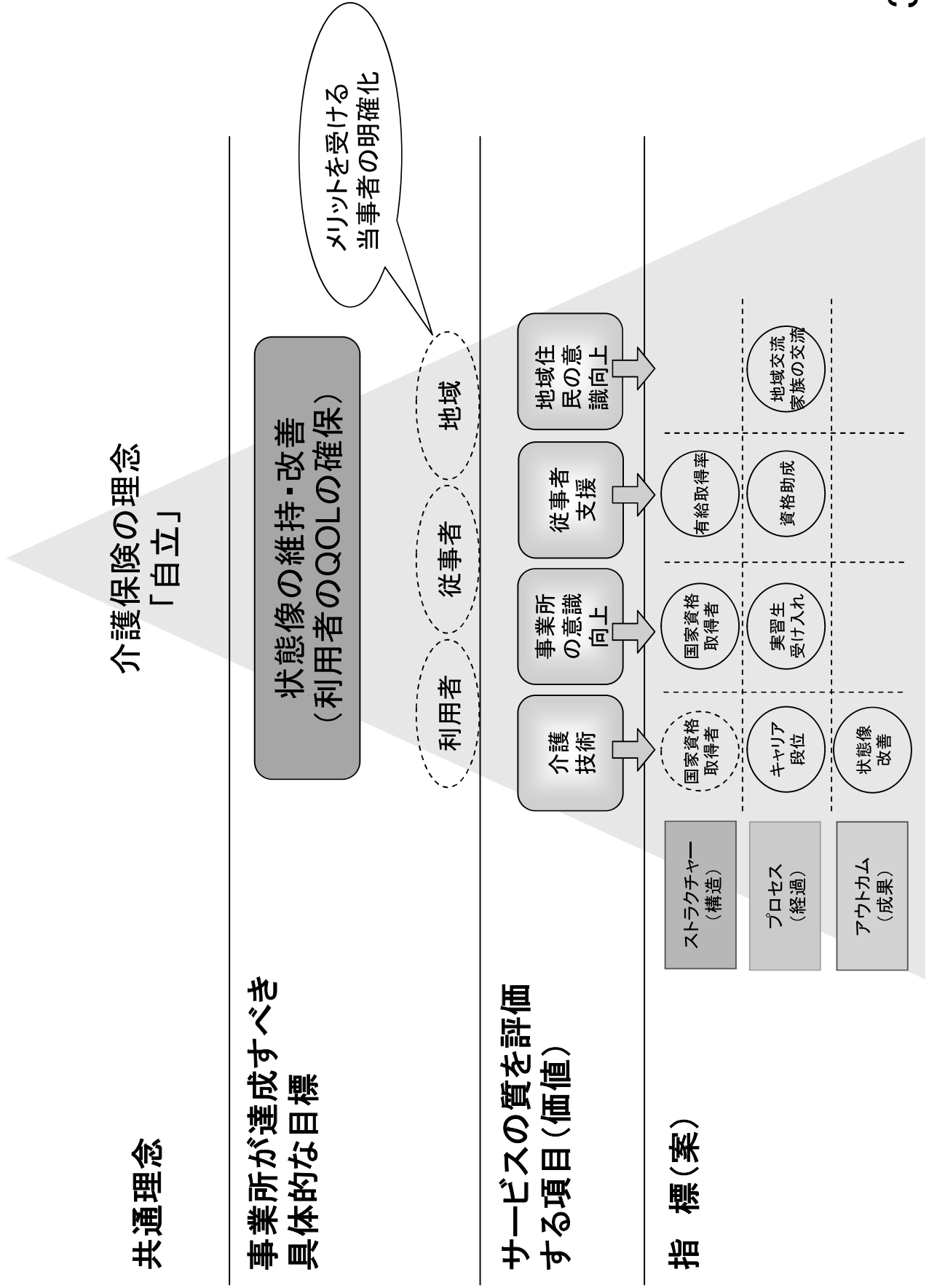
デイサービスには様々な事業所があり、その質を評価するには、複数の項目(価値)が存在し、その項目(価値)の中に各指標が存在する。

## 質を評価する項目(価値)・指標を検討し選定

質を評価する項目(価値)・指標を、岡山市とデイサービス事業所が協力して、全体で選定し、基準を作る必要がある。「共同」して選定することが大切と考えます。



# 通所介護サービスの質の評価階層図

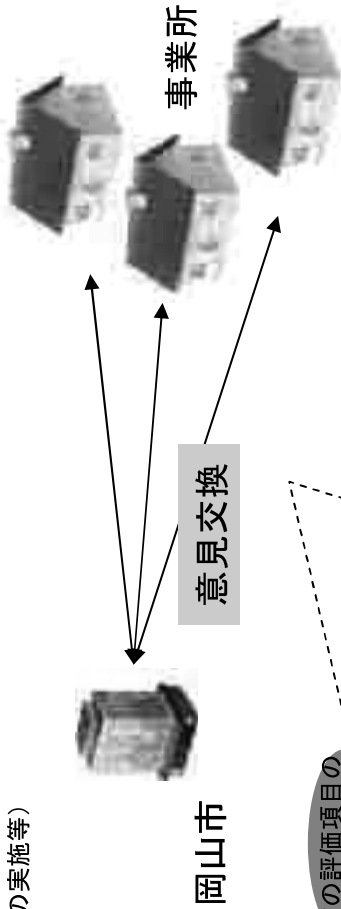


# デイサービス改善インセンティブ事業イメージ

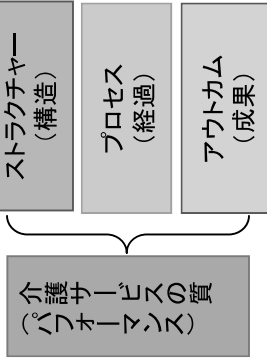
H25年度：事業準備

## サービスの評価項目の選定

サービスの質を評価する項目（価値）・指標を、岡山市、通所介護事業所と共同して選定（デイサービス改善インセンティブ事業説明会の実施等）



質の評価項目の  
着眼点



人員配置等 (OT・PTを配置しているなど利用者に  
対するサービス提供の体制が整っていること)

介護技術(キャリアアップ研修への参加等)  
地域社会との交流等

要介護度の改善

H26年度：事業スタート

## インセンティブ制度

- 評価項目・指標調査
- 調査結果に応じてインセンティブ(奨励金)を付与
- 情報公開を行い、質の高い取り組みの普及を図る



## 質の評価検討WT

評価項目・指標の確立、分析項目の検討等を行う。  
(岡山市、国立保健医療科学院、岡山市)

## 岡山大学

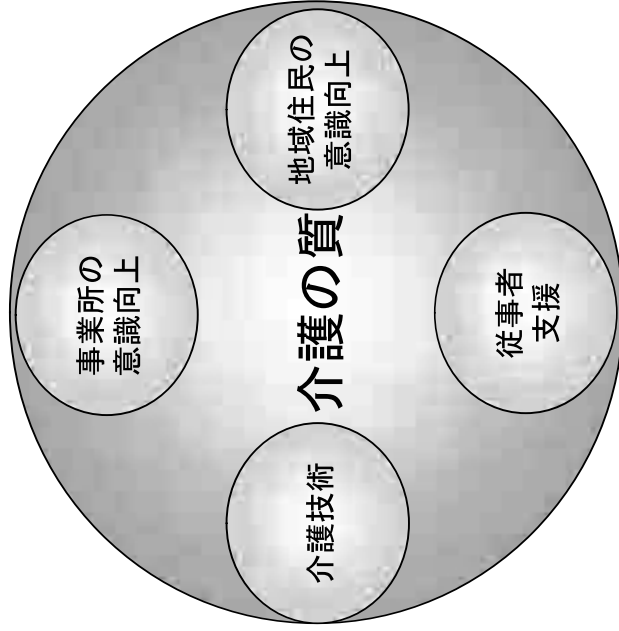
調査結果・分析 等

## デイサービスの質の評価項目の選定の流れ

1. 質を評価するための「項目(価値)」と「指標」を選定  
岡山市とデイサービス事業所の共同作業で「項目(価値)」と「指標」を選定する。

### デイサービスの質を評価する概念図

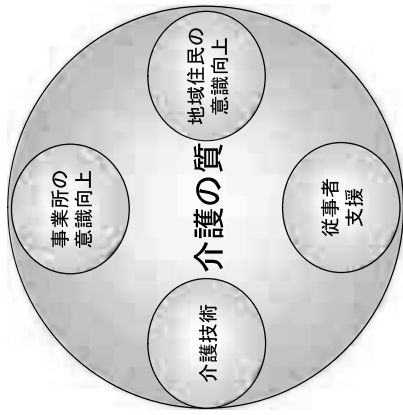
○質を巡る複数の項目(価値)



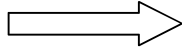
○項目ごとの指標

<b>介護技術</b> ①自立に向けた取組み(IADLの改善度) ②認知症の調査件数 ③キャリア段位における申請者数
<b>事業所の意識向上</b> ①専門職の配置割合 ②備品配置割合 ③広報誌の発行回数
<b>従事者支援</b> ①資格取得に係る助成額 ②従業員の有給消化率 ③職員満足度調査の結果
<b>地域住民の意識向上</b> ①地域行事の実施回数 ②ボランティアの受け入れ人数 ③家族会の開催日数

## 2. 各指標の評価基準値を設定



例えば「専門職の配置割合」が指標に選ばれた場合…



岡山市内のデイサービス事業所の「専門職の配置割合」を調査

アンケートや調査には  
デイサービス事業所の協力が不可欠

例えば、上位2割程度が「良」となるように、岡山市が評価基準値を設定

順位	事業所名	専門職数
1	○事業所	10
2	○事業所	10
49	△事業所	8
50	△事業所	8
51	□事業所	6
279	□事業所	1
280	□事業所	1

「良」と評価(上位2割程度)

上位2割程度の数値の所に、評価基準値を設定する。  
評価基準値=8

岡山市が評価基準値を設定

3. 来年度のインセンティブ付与について  
 (以下は、現時点の検討案ですので、決定ではございません)

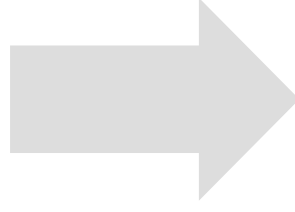
「項目(価値)」「指標」「評価基準値」等が決まると、ダイサービジネス事業所を評価します。  
 (平成26年度事業スタート)

**インセンティブ付与の要件: 全ての指標の評価基準値を超える事業所**

全事業所の指標値一覧表

事業所名	スタッフ数	指標2	指標10	合計
1 ○事業所	10	10	10	100
2 ○事業所	10	10	10	100
3 ○事業所	10	10	10	100
49 △事業所	8	8	8	80
50 △事業所	8	7	8	79
51 □事業所	6	6	10	64
279 □事業所	1	1	1	10
280 □事業所		1	1	10

全ての評価基準値を超える事業所を対象に  
 利用者の状態像の維持・改善度を算出



上位にインセンティブを付与  
 (上位の事業所については情報公開を行い、  
 質の高い取り組みの普及を図る)

1つでも下回れば、対象外

1つ超えていても、対象外

## 5. 事業スケジュール

平成26年2月4日 7日	市内全ダイサービス事業所を対象に全体説明会(第1回)の 開催 →事業説明及び「評価項目(価値)」と「指標」の議論
平成26年2月下旬	各指標に対するデータの収集のため調査票の送付(郵送)
平成26年3月中	全体説明会の開催 →「項目(価値)」と「指標」の集計結果と指標確定の報告 平成26年度事業の概要説明
平成26年度	ダイサービス改善インセンティブ事業スタート
平成27年3月	上位にインセンティブ(奨励金)を付与

# 岡山市総合特区 ダイサービス改善インセンティブ事業

## 「グループワーク」の進め方について



平成26年2月  
岡山市新病院・保健福祉政策推進課

## 今回の「グループワーク」で議論する内容

- (前半)
- 各テーブルに割り振られた大項目のうちで、各テーブルごとに議論を行う「評価項目」を決めてもらいます。(30分)
- (後半)
- 各テーブルごとに選んだ評価項目について、具体的に数値化できる「指標」を考えてもらいます。(30分)





## 「グループワーク」の進め方①

- 簡単に自己紹介をしてください。  
(皆様の事業所の特色も交えつつ、1分程度でお願います)

## 「グループワーク」の進め方②

- 各テーブルに割り振られた大項目のうちで、各テーブルごとで議論を行う評価項目を決めてもらいます。

1. 割り振られた大項目の中には、評価項目が4～6つありますので、各自2つ選び、付箋に①項目名②選んだ理由③事業所名を記入して下さい。（5分程度）

※提示している評価項目以外の項目であっても、新規に評価項目を提案していただいてもかまいません。



2. テーブルのA3用紙に各個人の意見を言いながら、各個人の意見を書き込んだ付箋を貼っていき、付箋について話し合ってください。

※付箋には・・・

こんな感じで書き込んでいきましょう！！

① 職員満足度の確保

②理由

利用者の状態像を良くするためには、職員の職場環境を整えることが大事だ！

③ 岡山市〇〇デイサービス

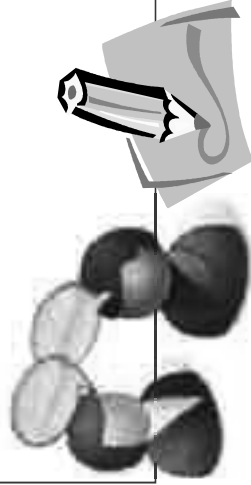
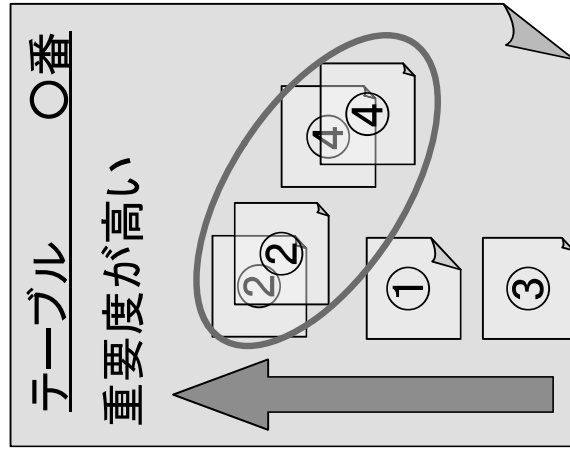
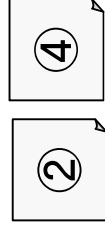
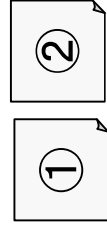
## 「グループワーク」の進め方③

3. テーブルのA3用紙に貼った付箋をもとに、後半に話し合う評価項目を2つ決めてください。

Aさん 「私は、〇〇といった理由で①と②の評価項目  
が大切だと思います。」

Bさん 「私は、〇〇といった理由で②と④の評価項目  
が大切だと思います。」

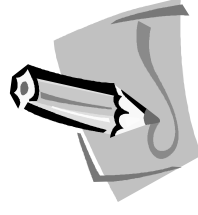
⋮



## 「グループワーク」の進め方④

- 各テーブルごとで選んだ評価項目について、具体的に数値化できる「指標」を考えてもらいます。
- ①前半で決めた評価項目の指標が岡山市案で適切かどうかを考えてください。（新規の指標の提案をしていただいてもかまいません。）
- ②思いついたことは付箋へ記入してください。（10分程度）  
付箋に①指標名②選んだ理由③事業所名を記入して下さい。

※付箋には…  
こんな感じで書き込んでいきましょう！！



賛成：ライム

- ①指標名：●●
- ②選んだ理由：指標として適切だ。（ただ、事業所間で不公平があるので、定員で補正する必要あり）
- ③事業所名：▲▲

注意：イエロー

- ①指標名：●●
- ②選んだ理由：この指標では、○○のような弊害を起す危険がある
- ③事業所名：▲▲

新規提案：ピンク

- ①指標名：■
- ②選んだ理由：第3評価の評価項目でもあり事業所の負担軽減のため。
- ③事業所名：□□

## 「グループワーク」の進め方⑤

指標については、下記4項目にご留意いただき、ご検討ください。

- 介護サービスに相関するものであること
- 数値化できるものであること(有無を問うものではないこと)
- 事業所が容易に測定・集計できるものであること
- 各事業所の指標を集計した結果に、ある程度の分布があること(結果に差がつくこと)

## 「グループワーク」の進め方⑥

- テーブルのA3用紙に貼った付箋について話し合ってください。
- テーブルのA3用紙に貼った付箋の優先度を決めます。

Aさん 「私は、〇〇といった理由で賛成です。」

Bさん 「確かに、〇〇で賛成ですね。」

：

Fさん 「では、評価項目〇番の指標としては、〇〇としましょう。」  
「順位付けると、右の絵のようになりますね。」

Cさん 「それでは、次の評価項目の指標へ進みましょう。」

